

(7) 子ども館

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、乳幼児が自由に遊べる場の提供、子育てについての相談及び助言、保護者相互の交流の支援、子どもの世代を超えたふれあい及び交流の支援、小学生・中学生及び高校生の居場所づくりの推進の場として、子ども館を整備しています。

設置目的：次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成される地域社会の形成に資するため、子育て家庭の支援及び子どもの健全な育成向上拠点として子ども館を設置する

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	構造	備考
1 子ども館	加良部3-3-1	1,010.25	昭和54	RC造	

② 運営時間・運営日数

運営時間は、午前9時から午後7時までです。

休館日は、毎週月曜日、毎月第3日曜日、年末年始（12月29日から翌年の1月3日まで）となっています。

平成23年度の運営日数は、287日でした。

③ 対象年齢・利用制限等

子ども館は以下の対象・利用制限を設けています。

- ・原則、本市に住所を有する18歳未満の者及びその保護者

■ 使用料

無料で利用できます。

④ 事業内容

地域コミュニティ事業

- ・乳幼児が自由に遊べる場の提供に関すること
- ・子育てについての相談及び助言に関すること
- ・保護者相互の交流の支援に関すること（主催事業の開催等）
- ・子どもの世代を超えたふれあい及び交流の支援に関すること（主催事業の開催等）
- ・小学生、中学生及び高校生の居場所づくりの推進に関すること
- ・その他子ども館の設置目的を達成するために必要な事業

等

⑤ 配置状況

子ども館は、成田地区に整備されています。乳幼児が親子で遊べる「なかよしひろば」は、三里塚コミュニティセンター内にも整備されています。また、平成25年度オープン予定の公津の杜コミュニティセンター内にも「なかよしひろば」を整備します。

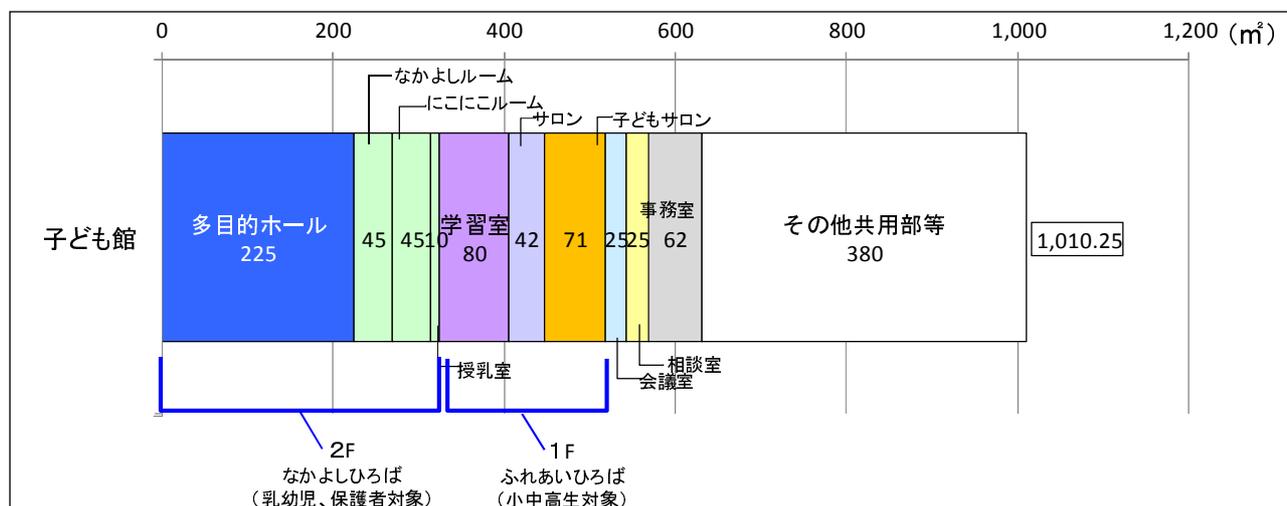
図表 子ども館位置図



⑥ スペース構成

子ども館の延床面積は1,010.25㎡で、かつて保健センターの跡地を利用して整備されました。2階は乳幼児と保護者を対象にしたスペース、なかよしひろば（多目的ホール・なかよしルーム・にこにこルーム・授乳室）となっており、1階に小中高生を対象にしたスペース、ふれあいひろば（学習室・子どもサロン・会議室等）が配置されています。

図表 スペース構成



2) 実態把握

① 建物状況

■ 子ども館の建物総合評価結果

平成23年度の子ども館の建物状況について、評価を行いました。

年度	平成23	基本情報		①耐震化	②老朽化			③バリアフリー対応					④環境対応		⑤維持管理						
		建築年	延床面積 (㎡)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	規模改修後または直近の大規模改修年数	車いす用エレベーター※1	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費
1	子ども館	昭和54	1,010	—	32	平成16	7	—	×	○	○	×	×	×	×	2,821	3,912	0	2,793	3,873	0

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等	記載例	実施済み=○
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備		未実施=×
		不要=—

子ども館は、旧耐震基準の建物ですが、耐震診断によって耐震化が確認されています。また、平成16年に大規模改修を行っています。今後は、バリアフリー対応及び環境対応が一部完了していないため、計画的な改修等の対応が望まれます。

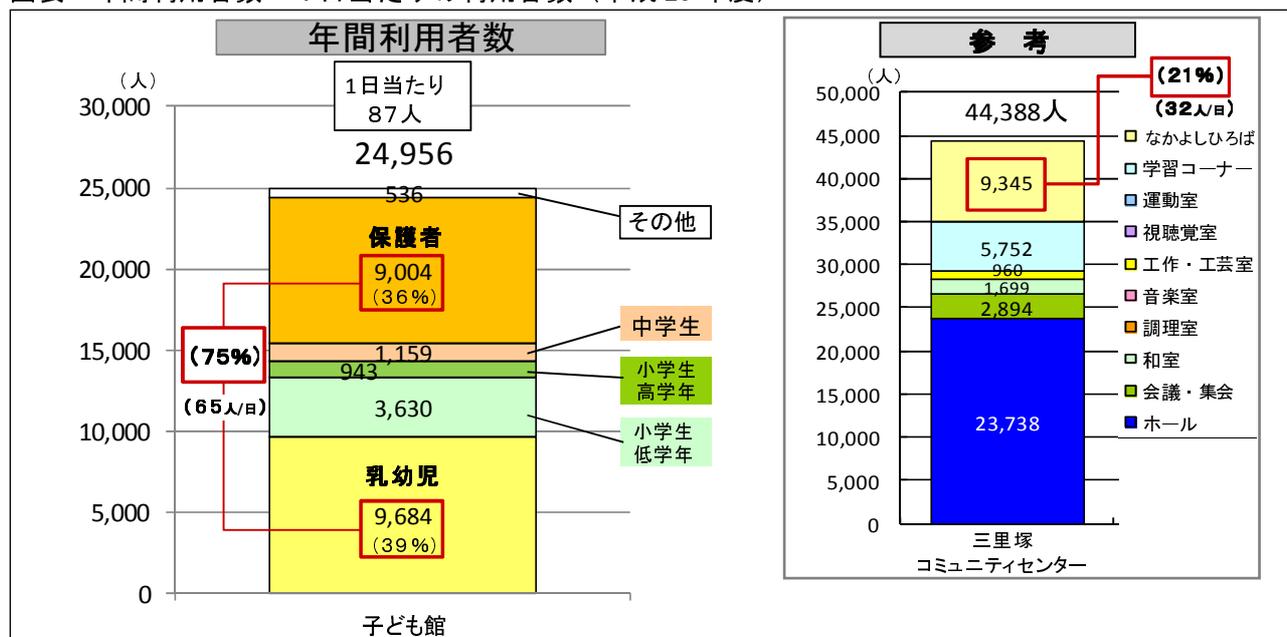
評価	<p>パターン④ バリアフリー・環境対応</p> <p>・バリアフリー、環境対応が未完了 ⇒今後、バリアフリーや環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設</p>
	<p>該当施設</p> <p>子ども館</p> <p>建築年 昭和54</p> <p>< 1 施設 ></p>
コメント	<p>・子ども館は大規模改修が完了している施設ですが、バリアフリーや環境対応が完了していないため、計画的な改修等の対応が望まれます。</p>

② 利用状況

■ 年間延利用者数

子ども館の年間利用者数は、2万4,956人です。利用者年代別では、乳幼児とその保護者の利用が全体の約75%を占め、小学校低学年約15%となっています。割合が一番少ないのは、小学校高学年の約4%です。また、1日当たりの利用者数は、約87人となっています。

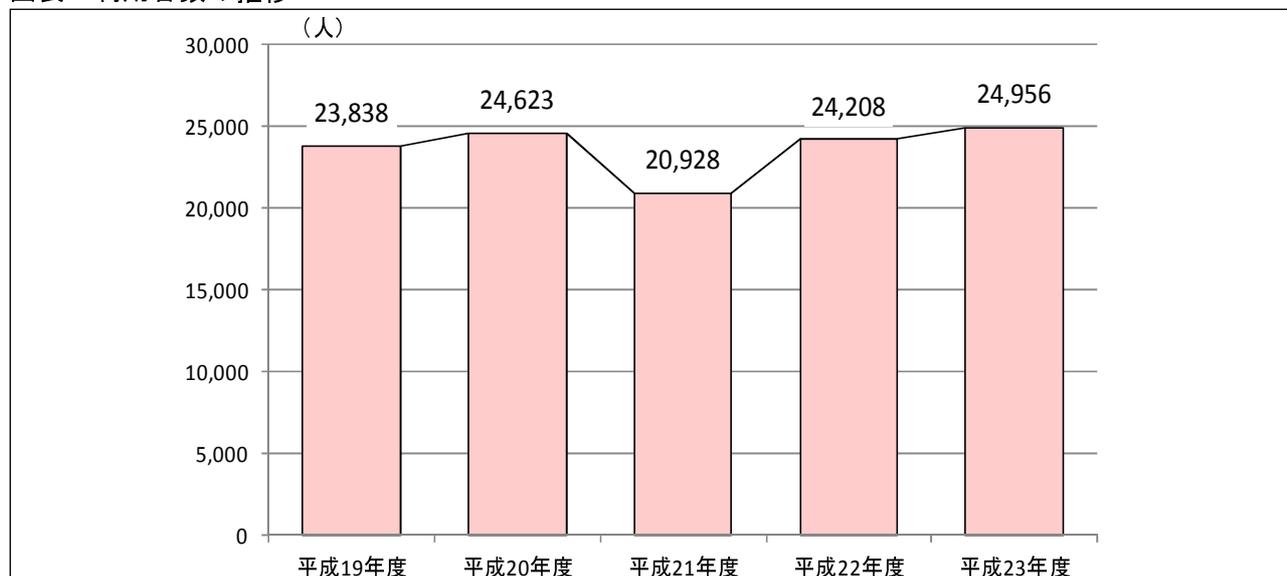
図表 年間利用者数・1日当たりの利用者数（平成23年度）



■ 推移

延利用者数は、平成19年度2万3,838人から平成23年度2万4,956人と5年間はほぼ横ばいで推移しています。平成21年度の利用者は2万9,288人で、前年度から約4,000人減少しましたが、これは冬期に流行したインフルエンザの影響によるもので、基本的には横ばいの状況となっています。

図表 利用者数の推移



③ 運営状況

■ 運営人員

子ども館の管理運営は、市の直営で、運営人員は、5人となっています。

この他に、市役所本庁の一般職員1名が施設の維持管理業務に従事していますが、この表からは除外しています。

図表 運営人員（平成23年度） (人)

		子ども館	
施設利用に関する受付・案内	直営	一般職員	0.1
		非常勤職員	2.0
	計	2.1	
各種講座・講演会等の企画・開催	直営	一般職員	0.8
		任期付職員	2.0
	計	2.8	
施設維持管理等	直営	一般職員	0.1
		臨時職員	0.0
	計	0.1	
合計	直営	一般職員	1.0
		非常勤職員	4.0
	計	5.0	

■ 運営体制

子ども館の運営体制は、火から金曜日は一般職員1人に加え、非常勤職員2から4人（ふれあいひろば1から2人、なかよしひろば2から3人）、施設全体で4から5人体制で従事しています。

土・日・祝日は、非常勤職員4から5人（ふれあいひろば2人、なかよしひろば2から3人）で従事しており、イベント時は最大4人が加わり合計9人の運営体制となっています。

図表 運営体制（平成23年度）

		8:30	9:00	14:00	15:00	17:00	17:15	19:00
子ども館 火～金 運営体制 4～5人	一般職員 1人	[8:30-17:00]						
	非常勤職員(企画等) 2人	[9:00-17:00]						
	非常勤職員(運営)1人	[9:00-17:15]						
	非常勤職員(運営)1人	[17:15-19:00]						
子ども館 土・日・祝日 運営体制 4～5人 (イベント時 9人)	一般職員 1人	[8:30-17:00]						
	非常勤職員(企画等) 2人	[9:00-17:00]						
	非常勤職員(運営)2人	[9:00-17:15]						
		[17:15-19:00]						

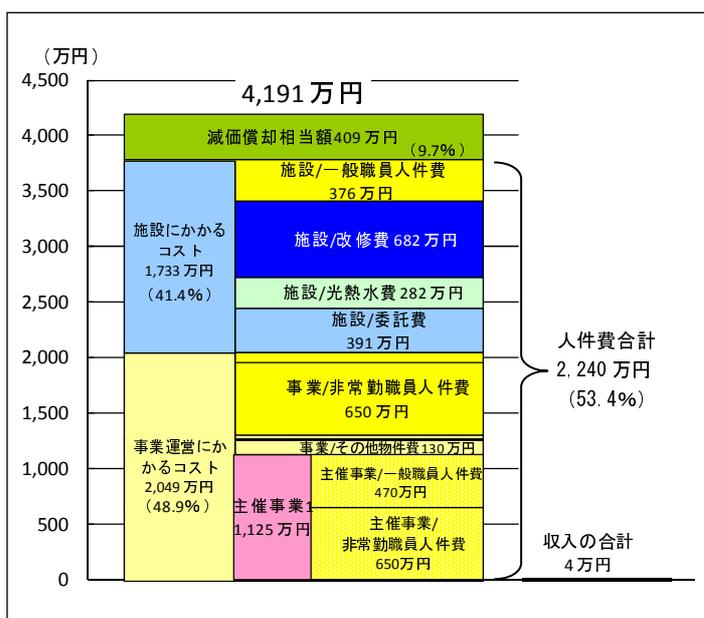
④ コスト状況

子ども館の年間トータルコストは、4,191 万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（人件費・改修費・光熱水費・委託費等）は 1,733 万円（41.4%）、事業運営にかかるコスト（人件費・その他物件費等）は 2,049 万円（48.9%）、減価償却相当額は 409 万円（9.7%）です。トータルコストの約 53%を人件費が占めています。

図表 子ども館行政コスト計算書（平成 23 年度） 図表 子ども館 トータルコスト（平成 23 年度）

		(円)
I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		子ども館
施設にかかるコスト	一般職員人件費	3,757,842
	改修費	6,820,800
	光熱水費	2,820,932
	委託費	3,911,693
	使用料及び賃借料	20,748
	施設にかかるコスト	17,332,015
事業運営にかかるコスト	一般職員人件費	939,460
	非常勤職員人件費	6,504,954
	修繕費	416,850
	使用料及び賃借料	6,100
	負担金補助及び交付金	71,680
	その他物件費	1,300,000
事業運営	9,239,044	
主催事業	一般職員人件費	4,697,302
	非常勤職員人件費	6,504,954
	委託費	52,395
	主催事業1	11,254,651
事業運営にかかるコスト	20,493,695	
現金収支を伴うコスト 計		37,825,710
【収入の部】		
収入	使用料収入	36,552
収入の合計		36,552
II. 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	4,085,290
III. 総括		
コストの部合計(トータルコスト)		41,911,000
収支差額(ネットコスト)		41,874,448



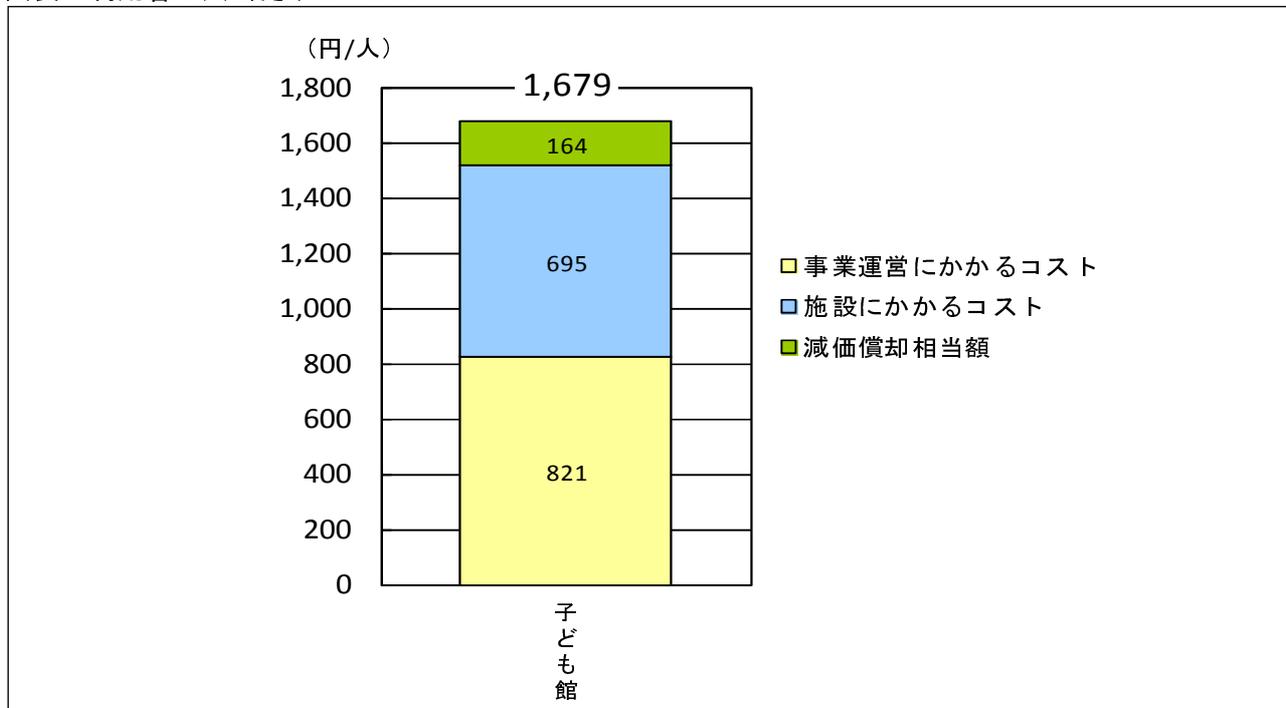
※原則として、該当施設に常駐している職員人件費をコストとして計上しています。市役所本庁で施設の維持管理業務に従事している一般職員（1名）のコストは、子ども館のトータルコストからは除外しています。

3) 評価・分析

■ 利用者1人当たりのコスト

年間利用者数とトータルコストから、利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、1人当たり1,679円/人となっています。

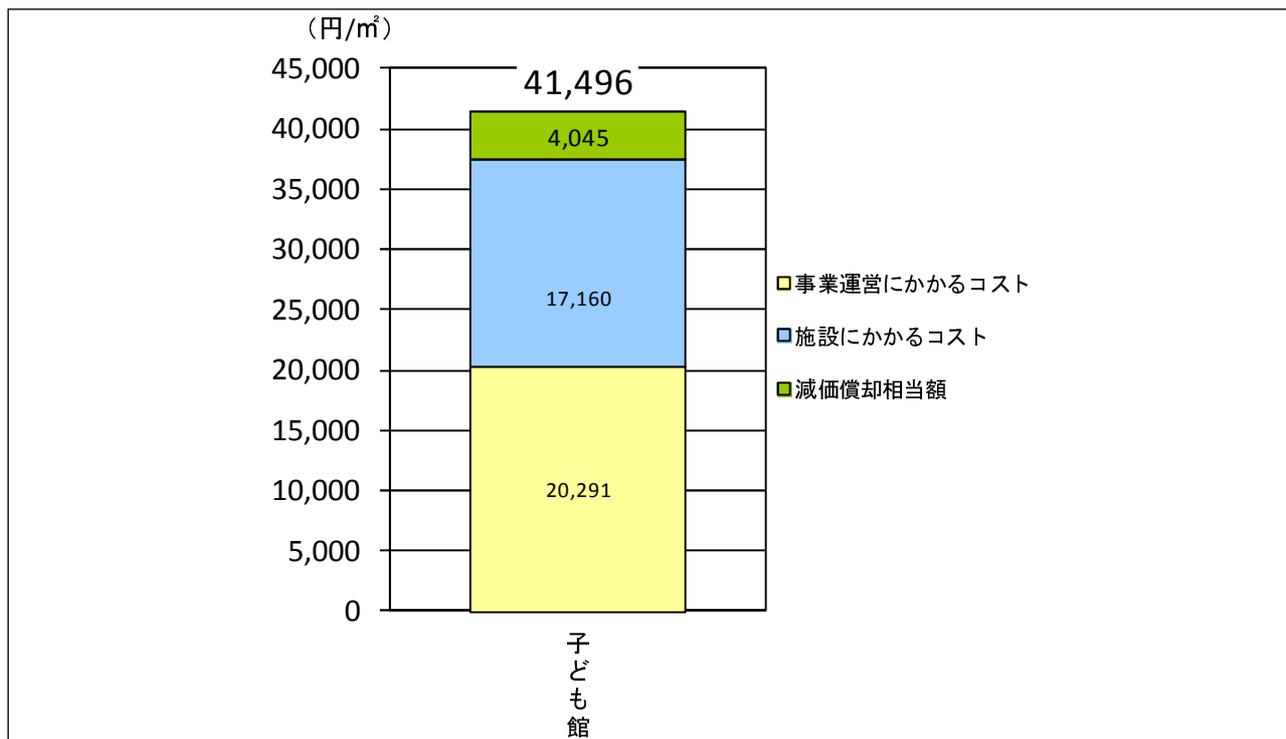
図表 利用者1人当たりのコスト



■ 単位床面積当たりのコスト

延床面積とトータルコストから、単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、4万1,496円/㎡となっています。

図表 単位床面積当たりのコスト



4) 今後の検討の視点

- 乳幼児とその保護者による利用者数が、全体の利用者数の75%を占めています。また三里塚コミュニティセンター内に設置されているなかよしひろばの利用者数も三里塚コミュニティセンター利用者数の約21%（1日当たり32人）となっており、今後、公津の杜コミュニティセンターにも同様の機能を整備します。
子育てに関する市民ニーズは社会情勢の変化にも影響を受け変動的であるため、利用者のニーズを的確に把握しながら、現状に即した事業展開を行う必要があります。
- 子ども館のトータルコストの約54%が人件費となっています。三里塚コミュニティセンターと平成25年度開館の公津の杜コミュニティセンターのなかよしひろばの運営については、委託の運営形態を含め、効率的な運営形態を検討すると共に、管理費の見直しや積極的な事業を展開する等、よりいっそう効率的・効果的な管理運営を検討する必要があります。